

# 自分の考えや思いを英語で伝え合うことに喜びを感じる児童生徒の育成をめざして

越ヶ浜中の  
英語の取組

## ☆ 言語習得における「粘り強さ」

言語学習における過程だけの話ではありませんが、学習には「停滞期（プラトー）」と呼ばれる時期があります。努力不足で伸びない状態とは異なり、一生懸命にもがいているのに、成長が止まり横ばいになる時期のことです。

英語学習者にとっても例外ではありません。学習者にとって、この時期はつらいものですが、ここでモチベーションを落とさずに乗り越えなければ言語を習得することはできません。他の教科でも言えることでしょう。学習におけるモチベーションや目的が一人ひとり異なる中で、どのようにして学習者の気持ちを持続させるかは、指導者にとっても大きな課題です。

言語を用いる場面には、必ず目的や状況があります。授業の中で、「状況」や「場面」を設定することの重要性は授業者の間に広く浸透し、実践されることとなりましたが、学習者の立場で考えると、ネイティブの幼児と同じ程度の単語や表現しか知らない中で会話を続けようとするには、どうしてももどかしさを感じずにはいられないと思います。しかし、そのもどかしさを、粘りに変えることができれば、停滞を恐れたりストレスに感じたりすることはぐっと減るでしょう。「言語習得には時間がかかるものだ。日々進歩を実感として感じるのは難しいが、コツコツと長期的な投資を続けていけば、半年後、1年後に成果は出る。」と、決してあきらめずに最善を尽くそうとする心の姿勢を保ちたいものです。

越ヶ浜中の今年度の取組も、5ヶ月が経過しようとしています。どの教科にも同じ事が言えますが、授業の中で手応えを感じられた日もあれば、停滞気味に伸び悩みの日々を過ごすこともあります。秋（11月）の研究授業を控えた英語科では、生徒たちがこれまでに培った力を最大限に引き出せるよう、試行錯誤と精進を重ねています。たとえ「3歩進んで2歩下がる」ことはあっても、粘り強く、トータルとして確実に歩を進めている実感があります。

## 1年生が夏休みの思い出について絵日記風にまとめました！

2学期最初の授業では、ペアの人とお互いの夏休みについて知るためにやりとりをしました。様々な思い出を共有した後、ある1日を取りあげ、より詳しく伝えるために情報を増やしたり、時系列に沿って伝えるために、順番や時を表す表現を取り入れたりしました。カーリー先生に英語を添削してもらい、パソコンで入力し関連する画像を添えました。タブレットやパソコンで英語を入力する経験を少しずつ積むことで、だんだん早く打てるようになりました！1年生の作品を今後英語教室に掲示するので、ぜひ先輩たちにも読んでもらいたいですね。

